市民の声　市川　昇 議員

鈴鹿市の歴史について

（質問）令和３年度より河曲地区の国分町にある「富士山１号墳」の発掘調査が行われ、全国でも数例のかぶとが出土され注目されているが①調査の経緯、②現状、③今後の取り組みについてお聞きしたい。

（答弁）①地元地域づくり協議会および自治会の協力もあり調査を実施した。②数々の遺構、遺物が出土し専門機関に委託し分析・保存処理を行っている。③令和９年度まで発掘調査を行いその中で歴史的価値を明らかにし地域住民、専門家、関係団体などと連携しながら調査、保存、活用に努める。

市民の声　市川　哲夫 議員

学校再編について

（質問）令和14年度に開校予定の義務教育学校の学校区に稲生小学校は含まれるのか。また、特認校制度についての考えは。

（答弁）義務教育学校の通学区域は、栄小学校区と天栄小学校区を想定している。現在の天栄中では、通学区域の弾力化制度を利用して稲生小からも進学しているが、白子中が適正規模校になる見込みのため、稲生小からの進学を令和11年度の入学を最後に終了する。義務教育学校は、市内全域から就学が可能となる特認校制度の導入を想定している。

その他の質問 ○緑地公園の利用

諸派（日本共産党）　石田　秀三 議員

市立図書館の今後の計画について

（質問）本年度に図書館再整備に向けた基礎調査が行われるが、検討するなら全国の公共図書館の現在の水準に追いつく目標を持ち、本館に加えて分館を設置する、図書購入予算の充実など、市全域へのサービスの充実を課題とする計画にされたい。

（答弁）この調査は、本市の図書館サービスの現状を把握し、今後の在り方を検討するものである。市内全域に図書館サービスを充実することは重要であると認識し、本市にふさわしい図書館になるよう取り組みたい。

その他の質問 ○国民健康保険

諸派（鈴　和）　田中　通 議員

総合治水と生活排水の部局間連携について

（質問）農業用水路のパイプライン化に伴い、開水路の埋め戻しなどで雨水や生活排水の行き場が失われ浸水被害が発生している。関係部局が事前協議を重ね、現場の流下能力を確保する連携体制を求めるが、市の見解は。

（答弁）農政・河川・道路などの関係部局が連携し、既設水路が有する雨水や雑排水の利用状況を整理した上で地域の排水機能に支障が生じないよう検討している。また雑排水路や道路側溝として用水路を残す継続利用も含め検討している。今後も適切に取り組む。

その他の質問 ○ＡＩを前提とした行政プロセスの再設計

議員研修会を開催しました

９月 28 日に、弁護士で鈴鹿市の特定任期付き職員である光永圭佑参事を講師に、昨年度に引き続きハラスメントをテーマとしたご講演をいただきました。昨年度はハラスメントの概要を学びましたが、今回は特にパワーハラスメントについて、他市の実際のケースに基づく事例検討の時間を設けた参加型のスタイルで実施され、より認識を深めることができました。



議員研修会の様子